

診療局：健康管理センター

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
センター長兼国際医療広報センター長	南谷 かおり
副センター長兼循環器内科部長 兼ドクターサポートセンター長 兼認知症ケアセンター長 兼先進医療開発センター長兼産業医	増田 大作
非常勤医員	馬場谷 美知子
看護師	2 名
他スタッフ	5 名

＜特色と概要＞

健康管理センターは常勤医員2名（南谷医師・増田医師）、非常勤医員1名（馬場谷医師）に加え、応援医師1名（葛城医師）、看護師2名、臨床検査技師（臨床検査より派遣）2名、および医療マネジメント課1名、派遣事務員4名にて業務を行っている。大きく2つに分けて、人間ドックと職域健診・特定健診を中心とした健康診断を行っている。ドック関連としては、従来の人間ドック、脳ドック、乳がん検診、アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査および事後の精密オプション検査、市民大腸がん検診や骨粗鬆症検診、アレルギースクリーニング検査(MAST36)を実施している。健康診断としては、企業における定期健診（協会けんぽを含む）や特殊健診（有害物質への対応）、特定健診などの法定健診を中心として、指定航空身体検査（パイロット健診）、睡眠時無呼吸症候群の簡易スクリーニングなどを行っている。

人間ドックは完全予約制で、月・水・金曜日は7枠、火・木曜日は2枠で実施している。脳ドックはそれに加えて土曜日に頭部MRI・MRA検査を行っている。人間ドック受診後、医師の面談による結果説明を行い、精査・治療が必要な場合は一般外来へ院内紹介を行い、当院の外来受診者数の増加につながっている。長く外国人ドックが実施できない状態に英語圏の仲介業者と契約したが、集客に苦労しているようだ。特定健診、後期高齢者医療健診および企業健診など各種健康診断は平日の午前中、泉佐野市民検診である骨粗鬆症検診は平日の午後、市民乳がん検診は日曜日に年5回と毎週金曜日の午後、乳がん検診セットは平日の午後にそれぞれ予約制で行っている。特定健診の保健指導については、保健師がおらず管理栄養士も多忙のため行えていない。健康診断では各種有所見者に対して結果通知と共に当院外来での二次健診の案内を添付して当院の内科外来への受診を可能とし、さらに利便性の向上に努めている。指定航空身体検査は金曜日の診察を含め継続的

に実施することにより当地域の需要に応えている。睡眠時無呼吸症候群の簡易スクリーニングは当院循環器内科における睡眠時無呼吸専門外来へ紹介しCPAP治療等への橋渡しが可能となっている。企業健診・特定健診・高齢者健診いずれも有所見者は当院外来での治療に繋げ、発症予防に貢献している。その他、被爆者2世健診、海上保安庁、消防署、関空の検疫所等の職員健診、就学時・就職時健診、企業の職員およびそのご家族の健診等を行っており、二次健診も含めて受診者の利便性の向上に努めている。

＜実績＞

2025年度の健康管理センター利用件数は、延べ2,839件で毎年少し増加している。人間ドック・脳ドック、企業健診や特定健診などで増加を認めた。

健康管理センター利用件数 (件)

	2023年度	2024年度	2025年度
人間ドック・脳ドック	855	952	1,026
オプション脳ドック	153	176	155
企業健診・一般健診	872	909	921
特定健診・後期高齢者健診	257	263	301
特定保健指導	1	0	0
乳がん検診(市民・自費)	181	147	122
被爆者健診	37	29	30
骨粗鬆症検診	25	26	34
一般予防接種・抗体検査	20	20	19
指定航空身体検査	81	79	71
外国人専用健診・ドック	1	2	1
アミノインデックス検査(検査後精検含む)	34	37	31
睡眠時無呼吸スクリーニング	27	20	32
大腸がん検診	60	69	80
アレルギースクリーニング	16	8	8
脳MRI検診	-	5	8
合 計	2,620	2,742	2,839

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

地域における予防医学の進展を、当院の置かれた独自の環境を考えながらさらに受診者を増加させていきたいと考えているが、当院は急性期病院のため患者優先で、健常人用の検査枠には限りがある。そのため人間ドックの需要は多いが数か月の予約待ちが発生しており、長年の課題となっている。そこで他部署と連携を行い、人間ドックや健康診断の検査項目実施の増加を目指したいと考えている。基本的には今までこれらをパッケージとして対応していたが、当院を取り巻く需要の変化に合わせて、検査科や放射線科と話し合い、個々の画像検査項目の追加を進めていきたいと考えている。同様に海外受診者に対して要望の高い画像検査のみの対応などを進めるなど、当院における多様な需要に対して柔軟に対応していきたいと考えている。